

平成29年度 事業計画案一覧

種別	No	事業名	新・継 (年数)	事業種類 1	事業種類2	事業のねらい	主な活動内容	期 間	対 象	募集 人数 (人)	連 携
看板事業	1	若狭湾 海湖の自然学校	4	教育事業	看板事業	・若狭湾の自然の中での体験活動を通して、意欲の向上や自主・自律の精神を養いながら、意欲の向上と人間関係の育成を目指す。 ・参加者が再会する機会を設け、参加者や保護者の関係を深めるきっかけをつくる。	シーカヤックでのツアー・スノーケリング・野外炊事・テント泊・海中釣り・ハイキング	平成29年8月5日(土) ～8月12日(土) (6泊7日)	小学5年生～中学2年生	20	・福井県山里海研究所 ・福井県立三方青年の家 ・総合型地域スポーツクラブわかさ
	2	若狭湾 海湖の自然学校同窓会	4				室内スポーツ・保護者との語らい・思い出クラフト	平成30年2月10日(土) ～2月11日(日) (1泊2日)	参加者と保護者	20	
地域力向上事業(旧モデル事業)	3-1	若狭湾 トビーキッズのたんけん隊①「春のたんけん」	2	教育事業	地域力向上事業	・若狭湾の四季を通した自然の中での体験活動を通して、地域の自然に親しみ、地域の自然を大切に、地域で生きる人材を育てる。 ・発達段階に応じた海プログラムの組み立て手法や安全管理手法を確立し、他施設での活用役に役立つ。	ハイキング・キャンプファイアー・クラフト	平成29年5月13日(土) ～5月14日(日) (1泊2日)	小学1・2・3年生	30	福井県山里海研究所 福井ふるさと学びの森
	3-2	若狭湾 トビーキッズのたんけん隊②「夏のたんけん」	2				スノーケリング・シーカヤック	平成29年7月15日(土) ～7月17日(月) (2泊3日)		30	福井県海浜自然センター パムコ
	3-3	若狭湾 トビーキッズのたんけん隊③「秋のたんけん」	2				釣り・野外炊飯	平成29年10月21日(土) ～10月22日(日) (1泊2日)		30	世久見観光協会 阿納ブルーパーク 上中農楽舎
	3-4	若狭湾 トビーキッズのたんけん隊④「冬のたんけん」	2				スキー・スノーシューハイキング・雪遊び	平成30年2月3日(土) ～2月4日(日) (1泊2日)		30	小浜市スキー連盟 若狭スキークラブ
	4	若狭の自然の中で～東海市「青空教室」との連携(不登校児童生徒支援事業)	8				教育事業	地域力向上事業		・課題を抱える児童・生徒が、若狭湾の雄大な自然の中で心身をリフレッシュするとともに、参加者同士や参加者とボランティアの交流を図り、チャレンジしようとする意欲を高める。 ・課題を抱える児童・生徒が自然体験活動を通して、より良い効果を得られるようなプログラム開発を行い、当施設の利用団体や近隣青少年教育施設・教育委員会・学校等にプログラムの提供及び発信をしていく。	浜遊び・夕日観察・磯観察・グラスボート・シーカヤック・カッター・磯釣り・スノーケリング
指導者養成事業	5	ボランティア養成セミナー	16	教育事業	指導者養成研修事業	・青少年野外教育施設等でのボランティア活動の役割について理解を深めるとともに、ボランティア活動に対する意欲を高める。また、当施設でのボランティア活動に必要な知識や技能を習得する。 ・ボランティアに必要な知識や技能、ボランティア養成に関わる研修会のノウハウについて、公立施設等に発信していく。 ・公立施設でも活躍できるボランティアの育成を目指す。	青少年の理解・体験学習法・ボランティアの意義・救命救急法・シーカヤック・ボランティアの理解・施設の現状・野外炊飯	平成29年5月3日(水) ～5月5日(金) (2泊3日)	高校生・高等専門学校生・専修学校生・各種学校生・大学生・社会人	30	福井県青少年教育施設協議会
	6	ボラ交流会(わかさんピース)	3	教育事業	指導者養成研修事業	・ボランティア養成セミナーで学んだ内容のステップアップとして青少年野外教育施設等でのボランティア活動の役割について理解を深める	室内スポーツ・思い出クラフト	平成29年9月9日(土) ～9月11日(月) (2泊3日)	高校生・高等専門学校生・専修学校生・各種学校生・大学生・社会人	60	
	7	自然体験活動指導者養成研修(NEALインストラクター養成研修)	新規	教育事業	指導者養成研修事業	・全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、自然体験活動におけるプログラムの企画・実施者になるとともに自然体験活動指導者(NEALリーダー)を指導する自然体験活動上級指導者(NEAL インストラクター)を養成する。	青少年理解 シーカヤック キャンプファイヤー	平成29年9月22日(金) ～9月24日(日) (2泊3日)	高校生・高等専門学校生・専修学校生・各種学校生・大学生・社会人	30	
	8	若狭湾パーティー	2	教育事業	指導者養成研修事業	・1年間の若狭湾でのボランティア活動を振り返る機会を作るとともに、先輩ボランティアから学ぶ機会を作り、次年度のボランティア活動への意欲を高める。	室内スポーツ・思い出クラフト・施設職員との交流	平成30年2月11日(日) ～2月12日(月) (1泊2日)	高校生・高等専門学校生・専修学校生・各種学校生・大学生・社会人	30	
	9	教員免許状更新講習	4	教育事業	指導者養成研修事業	・学習指導要領と体験活動の関わりを理解するとともに、実際の自然体験活動を通じて安全に配慮した指導方法を体得し、体験活動の意義や効果を理解する。	青年期における自然体験活動の現代的意義 シーカヤック、スノーケリング実習	平成29年10月14日(土) ～10月15日(日) (1泊2日)	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などの教員	20	福井大学
	10	若狭湾“夏の”フェスティバル	新規		普及啓発事業	・若狭湾での海の活動プログラム、水泳を中心に体験できる機会を設け、夏の海を十分満喫し、より多くの人たちに海の活動の魅力を知ってもらう。	水泳・磯遊び	平成29年8月26日(土) ～8月27日(日) (1泊2日)	どなたでも	200	
	11	若狭湾“海の”フェスティバル	2	地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業	普及啓発事業	・当施設の活動プログラムの中でも、少人数のグループや家族に対して、提供できていないシーカヤックやスノーケリング、SUPについて、体験できる機会を設け、より多くの人たちに、これらの活動の魅力を知ってもらう。	シーカヤック・スノーケリング・SUP	平成29年9月30日(土) ～10月1日(日) (1泊2日)	どなたでも	100	
	12	若狭湾クラフトマルシェ	2		普及啓発事業	・当施設の職員が指導や支援に直接関わることにより、参加する家族が青少年教育施設での活動や生活を体験し理解する機会を提供する。 ・若狭湾での山、室内の活動プログラムに家族で取り組むことにより、家族の相互理解や絆を深めるとともに、家族同士の交流を図る機会を提供する。 ・日程や家族プログラムの大枠を予め当施設が作成することにより、研修支援事業での家族利用の新しい方法について試行し、今後の活動に活かす。	クラフト、ハイキング	平成29年12月9日(土) ～12月10日(日) (1泊2日)	どなたでも	300	国立青少年教育振興機構 中部北陸ブロック5施設

普及啓発事業	13-1	食育体験シリーズ ～地域文化の伝承①～ へしこ作り	12	教育事業	普及啓発事業	・若狭地方の伝統的スローフードを通して食文化についての理解を深めるとともに、地元ならではの食文化の大切さを発信する。 ・漁家の生活を体験した、地域のイベントに参加することを通して、地域の人々との交流を図り、地域に目を向けるきっかけをつくる。 ・地域等との合同事業を想定したプログラムの企画・運営のノウハウを発信する。	漁家での鯖へしこ作り・磯釣り体験	平成29年4月22日(土) ～4月23日(日) (1泊2日)	子どもを含む家族 その他希望者	40	田島観光協会 田島我袖倶楽部
	13-2	食育体験シリーズ ～地域文化の伝承②～ なれずし作り	12				漁家での鯖なれずし作り・磯釣り体験	平成29年11月3日(金) ～11月4日(土) (1泊2日)		40	田島観光協会 田島我袖倶楽部
	13-3	食育体験シリーズ ～地域文化の伝承③～ 郷土料理(仮称)	2				若狭ソビエ工房、阿納ブルーパークとの連携	平成30年1月13日(土) ～1月14日(日) (1泊2日)		40	田島観光協会 田島我袖倶楽部
	14	子ども生活自立支援事業 「児童養護施設 偕生慈童苑」と 連携した事業	2	教育事業	生活・自立支援事業	・児童養護施設で暮らす子供を対象に、体験活動の機会を提供することで「生活・自立」を支援し基本的な生活習慣の確立を目指す	・各施設で暮らす子どもたちの要望や実態に合わせた活動の選択 ・当施設の自然環境を活かした普段できないような体験活動 ・自立を目指した買い物体験や料理実習 等	(1泊2日程度) (未定)	・児童養護施設の子ども	30	児童養護施設 偕生慈童苑
	15	自然体験活動プログラム訪問相 談会～京都市立の小学校を中心 に～ ＜継続＞	6	教育事業	普及啓発事業	・学校教育につなげる体験学習法のポイントを発信する。・長期宿泊体験学習に有効なプログラミングの情報交換を行い、ポイントのアドバイスを行う。	・当所の活動に関する説明、プログラム立案に関する支援ほか	平成29年 2月上旬～4月上旬			
	16	トビーでチャレンジ	2	教育事業	普及啓発事業	・「遊んで身に付く36の基本的な動きvol1」を元に遊びの場を設定し、園児たちがさまざまな遊びの楽しさを感じるとともに、集団行動や人のかかわり方のルール等に気付く。	室内運動	平成30年 1月下旬～2月上旬	園児		
	17	海の声キャンプ	新規	教育事業	普及啓発事業	・園児を持つ親子に対して、シーカヤックやスノーケリングを体験できる機会を設け、より多くの人たちに、自然体験活動の魅力を知ってもらう。	スノーケリング・シーカヤック	平成29年8月26日(土) ～8月27日(日) (1泊2日)	園児・親子	20	
	18	三方サイクリング	新規	教育事業	普及啓発事業	・三方五湖をめぐる中で、地域の良さを知るとともに、自然の魅力を知ってもらう。	サイクリング、登山	平成29年10月28日(土) ～10月29日(日) (1泊2日)	小学4年生～中学生	30	
その他事業	19	中部・北陸ブロック 次長プロ ジェクト 「小学校入学世代の子どもの体 験活動に関する調査研究」	8	調査研究 事業		・5教育拠点で行う「各世代の子どもの体験活動に関する調査研究」事業を対象に、青少年の各年齢期における体験活動において「人間関係能力を高める教育プログラム」を開発する。体験活動の効果を測定する検証方法を確立し、その教育プログラムの有効性を検証する。 ・当施設は特に、幼児期について研究を深める。		通年	対象事業への参加者		
	20	海洋教育に関する研究	2	調査研究 事業		・国公立の海洋型施設と連携し、海洋教育の推進に寄与する取り組みを行う。		通年	—		海洋型施設6施設 東京大学海洋アライアンス海洋 教育推進研究センター
地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業	21-1	わかさわん うみはともだち(海 編)	3	地域ぐる みで「体験 の風をお こそう」運 動推進事 業		・幼児期から海に親しめる子どもたちを育てる。 ・保育園・幼稚園での自然体験を推進する。	浜遊び・磯遊び	①平成29年8月 日() ②平成29年8月 日() ③平成29年9月 日()	幼稚園・保育園に通う園児(5歳児)	25	若狭の海湖山から「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会 福井県立若狭歴史民俗資料館 福井県海浜自然センター 福井県立三方青年の家 若狭三方縄文博物館 福井県里山里海研究所
	21-2	わかさわん うみはともだち(山 編)	3				ハイキング	①平成29年10月 日() ②平成29年10月 日() ③平成29年10月 日()		25	
	21-3	わかさわん うみはともだち(冬 季編)	3				クラフト	①平成30年1月 日() ②平成30年1月 日() ③平成30年2月 日()		25	
	22	幼児の自然体験活動指導者養 成研修	3	地域ぐる みで「体験 の風をお こそう」運 動推進事 業		・学校や幼稚園、保育園で実施する自然体験活動において、教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラム計画立案、活動時の全体指導を行う教員を養成する。 ・自然体験活動指導に必要な知識や技能、及び研修会のノウハウについて、公立施設等に発信していく。	学校における体験活動の意義・教育課程と体験活動の関連性・救命救急法・自然体験活動の意義(シーカヤック)・安全管理・体験活動の指導法・プログラムの企画立案	平成29年8月17日(木) ～8月18日(金) (1泊2日)	小浜市内の教員 保幼職員、小中高等学校など教職員	20	若狭の海湖山から「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会 小浜市民生部社会福祉課 小浜市教育委員会
	23	わくわく体験塾	3	地域ぐる みで「体験 の風をお こそう」運 動推進事 業		・若狭地域の歴史・文化等を知り、そのすばらしさに気づく。 ・海の活動を通して、海のすばらしさや環境について学ぶ。 ・近隣の施設の特徴を生かしながら、若狭地域の教育力を高める仕組みを検討する。 ・近隣施設同士の連携を深め、新たな取り組みへの足がかりとする。	土笛作り・火おこし・カッター・夕日観察・カッター・海釣り・星空観察・キャンプファイヤー・勾玉作り	平成29年10月7日(土) ～10月9日(月) (2泊3日)	小学4年生～中学生	25	若狭の海湖山から「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会 小浜市民生部社会福祉課 小浜市教育委員会 小浜市内幼稚園・保育園